

言語・古人骨・交易/農耕・歴史背景から 中世における琉球列島へのヒトの移動を探る

平成 30 年 1 月 28 日 (日) 13:00~16:00
琉球大学 地域創生総合研究棟 1F (入場無料・事前申込不要)

現在、その多くの島に人々が暮らしている琉球列島。その人類活動の始まりは約 3 万年前まで遡るとされています。しかし、言語学やゲノム（遺伝子）人類学の最新の研究や知見からは、より新しい時期である「中世（グスク時代～琉球王朝形成の時期）」に起きた多様で大きなヒトの移動が、現代における琉球人の形成に多くの影響を与えているのではないかと指摘されています。

そこで本シンポジウムでは、言語学などで導かれた琉球列島へのヒトの移動モデルに対し、古人骨分析の知見からさらに具体的に検証し、その上で考古学的に見た交易や農耕の展開、文献記録から読み解く社会背景と言った要素から、中世期に起きた琉球列島へのヒトの移動の要因や枠組みへと迫ります。

パネリスト

狩俣 繁久 (琉球大学 国際沖縄研究所)

「琉球語の成立過程から見た琉球列島へのヒトの移動の波」

竹中 正巳 (鹿児島女子短期大学)

「古人骨からみた中世の琉球列島」

瀬戸 哲也 (沖縄県立埋蔵文化財センター)

「琉球列島グスク時代の集落変遷と交易・農耕の展開について」

大田 由紀夫 (鹿児島大学 法文学部)

「13・14 世紀東アジアにおける「琉球」認識」

ディスカッサント

木村 亮介 (琉球大学 医学研究科)

新里 貴之 (鹿児島大学 埋蔵文化財調査センター)

豊見山 和行 (琉球大学 法文学部)

主催：琉球列島における「動的」言語系統樹とヒトの移動プロジェクトチーム

共催：琉球大学戦略的研究プロジェクトセンター、琉球大学「時空間ゲノミクス」プロジェクト、琉球大学国際沖縄研究所

言語・古人骨・交易/農耕・歴史背景から 中世における琉球列島へのヒトの移動を探る

2018年1月28日(日)：琉球大学地域創生総合研究棟1F

タイムスケジュール (敬称略)

12:30 開場 (レジュメ・質問票を受付で配布いたします)

13:00~13:10 開会の挨拶

パネリスト講演 (発表時間：各20分程度)

13:10~13:30 「琉球語の成立過程から見た琉球列島のへのヒトの移動の波(仮)」
(狩俣 繁久：琉球大学国際沖縄研究所)

13:50~14:10 「古人骨からみた中世の琉球列島」
(竹中 正巳：鹿児島女子短期大学)

14:10~14:30 「琉球列島グスク時代の集落変遷と交易・農耕の展開について」
(瀬戸 哲也：沖縄県立埋蔵文化財センター)

14:30~14:50 「13・14世紀東アジアにおける「琉球」認識」
(大田 由紀夫：鹿児島大学)

14:50~15:00 休憩 (ディスカッション用に質問票を回収いたします)

質疑応答/ディスカッション

15:00~15:30 ディスカッションからのコメント
(木村亮介：琉球大学・新里貴之：鹿児島大学・豊見山和行：琉球大学)

15:30~16:00 総合討論 (司会：狩俣繁久)

16:00 閉会の挨拶



会場までのアクセス

・お車までお越しの方

琉球大学北口から入構後、北口交差点を左折すぐ。会場隣の駐車場をご利用できます。

(※琉大東口・琉大南口は閉門のため通行できないこともありますのでご注意ください)

・バスでお越しの方

琉大線 97番・98番：琉大北口から徒歩3分

首里駅琉大快速線：琉大北口から徒歩3分

高速バス：琉大入口から徒歩6分

お問い合わせ先

琉球大学言語系統樹解析センター

メール：karimata@ll.u-ryukyu.ac.jp

電話：098-895-8988